### 工場 設置 認可申請書

年 月 日

小金井市長殿

住所氏名

(EII)

(法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 で、関係書類を添えて、次のとおり申請します。 第81条第1項 の規定により認可を受けたいの

既 認 可 番 号 等	認可番号•	年月日	第	号		年	月 日
以 心 円 笛 万 守	変更	事 由	1	業種	2 作業	3建物	4 施設
工 場 の 名 称							
工場の所在地							
地域等	用	途 地	域			水	域
業 種 ① 作業の種類②	1)				2		
主要生産品目							
資 本 金			円	作業	時間	時 時	分から 分まで( 時間)
自動車の出入口が 接する道路の幅員				内の学権	x ートル以 c ・病院等 在 位 置	有 △位無	立置:別紙( ) のとおり
工事着工予定		年 月	日	工事完	飞成 予定		年 月 日
従 業 員 数			人	常用雇	用者数		人
公害防止担当部課	担当部課 責任者氏名			•			
連 絡 先	所 属 氏 名 電話番号 (ファクシミリ番号			電子メー	-ルアト* レス		)
※受付欄				※手数料			

- 備考 1 ※印の欄には記入しないこと。
  - 2 「既認可番号等」の欄は、変更認可申請時のみ記入すること。
  - 3  $\triangle$ 印の欄には、申請書に添付する各別紙に一連番号を付けた上、該当する別紙の番号を記入すること。
  - 4 「用途地域」の欄には都市計画法第8条第1項第1号に規定する用途地域を、「水域」の欄には条例別表第7 4の部の付表の 水域細区分の欄に掲げる水域を記入すること。
  - 5 「業種①、作業の種類②」の欄の「①」には日本標準産業分類の中分類項目を記入すること。また、「②」には条例別表第1に 掲げる工場の種類を記入すること。
  - 6 「100メートル以内の学校・病院等」とは、工場の敷地の境界線から 100メートル以内の学校及び病院並びに 50メートル以内の保育所、診療所(患者の収容施設を有するものに限る。)、図書館及び特別養護老人ホームをいう。
  - 7 「公害防止担当部課」の欄の「責任者氏名」には、公害防止管理者を置いている工場にあっては、公害防止管理者の氏名を記入すること。

敷	敷 地	面積	1 変更後	(設置)	m²	2	変更前	m²
地	建物の	配置等	△別紙(	)のとおり				
建 物 の	建物の様・構造・		△別紙(	)のとおり				
状況	周囲	の状況	△別紙(	)のとおり				
施の状	機械	• 設備等 0	)施設	△別紙(	)のとおり			
設況	構造・	配置·使	用方法	△別紙(	)のとおり			
	電力の合計 kW)	その他の電 合計 ( k <sup>'</sup>		燃料油使用量	総用水量 (m <sup>3</sup> /日)		取水方法	総排水量 (m³/日)
1								
2								
	易で取り払ス又は有							
作	業の	工 程						
			屋外	の作業				
( -	手防止措置 一時的作業 置を含	美に伴う						

- 備考 1 「建物の配置等」、「建物の棟別用途・構造・面積等」及び「機械・設備等の施設」の欄の別紙 は、それぞれ、施行規則別記第7号様式の別紙1その1、その2及びその3を使用すること。
  - 2 「周囲の状況」の欄の別紙は、近隣の建物の用途、構造及び配置並びに道路の状況等を明らかにした図面とすること。
  - 3 「構造・配置・使用方法」の欄の別紙は、施行規則別記第7号様式の別紙2から別紙7までのうち 該当する様式を使用すること。
  - 4 「動力用電力の合計」から「総排水量」までの欄は、設置認可申請時には「1」欄のみ記入すること。
  - 5 「動力用電力の合計」の欄には原動機の定格出力の合計を、「その他の電力の合計」の欄には電熱 用電力、電解用電力等、直接当該工場の作業の用に供する電力で動力用電力以外のものの合計を記入 すること。
  - 6 「工場で取り扱う有害ガス又は有害物質」の欄には、条例別表第3 有害ガスに掲げる物質又は別表第4 有害物質に掲げる物質のうち工場で取り扱っているものを記入すること。

敷地内建物の配置及び総	· 排水系統図
/////////////////////////////////////	
備考 1 配置図には、建物の	D 田冷を記すせること
	フ州歴を記入りること。 Cは、給水(青)及び排水(赤)の色分けをすること。
	ず、それによることができる。

		7-1-11	14 80 5	T 14 14 14		- <i>t-</i> -	
		建物の	棟別月	用途・構造			
棟別 番号	新既 の別	用。途	階数	構造	建築面積 (㎡)	床 面 積 (m²)	作業場面積 (㎡)
		<u></u> 合 : **********************************	<del> </del>				

		機械	• 設	備等	の施設	
工場におけ る施設番号	新既の別	種類	公称能力	台数	動力用電力 (kW) (原動機)	その他の電力 (kW) (原動機以外)
		合 計				

#### ばい煙、粉じん、有害ガス又は悪臭の発生施設の構造・使用の方法

工	場における施設番号				
種	類 ・ 名 称 ・ 型 式				
使	用開始(予定)年月日				
	主 要 寸 法 ( m ) 又は定格出力 ( k W )				
	伝熱面積・火格子面積・火床面積 又は羽口面断面積 (m²)				
規模	原材料処理能力(t / h) 又は焼却能力(k g / h)				
	燃料の燃焼能力 $(\ell/h,m^2N/h)$ 又は変圧器の定格容量 $(kVA)$				
	乾燥施設の容量 (m³)				
	電 流 容 量 ( k A ) 又はポンプの動力 (kW)				
使用状況	1日の使用時間・1月の使用日数	時~ 時 日/月	時~ 時 日/月	時~ 時 日 <i>/</i> 月	時~ 時 日 <i>/</i> 月
況	季 節 変 動				
	種類類				
臣	使 用 割 合				
原材料	いおう分(%)カドミウム分(%) 又は鉛分(%)				
	1 日 の 使 用 量				
	種 類				
燃料	灰分(%)・いおう分(%)				
料又は電力	発 熱 量				
電力	1 日 の 使 用 量				
	混 焼 割 合				
	参 考 事 項				

- 備考 1 この用紙は、申請書の「機械・設備等の施設」欄に記入した施設のうち、条例別表第7 1 の部(1) の款の付表第1に掲げる施設、同条例別表第3に掲げる有害ガスを発生する施設、粉じんを発生する施設 (施行規則別記第7号様式の別紙3又は4に該当する施設を除く。)及び悪臭を発生する施設について記入すること。
  - 2 「いおう分(%)カドミウム分(%)又は鉛分(%)」欄の記入に当たっては、重量比及び容量比の別を明らかにすること。
  - 3 酸素吹込式の炉については、「参考事項」欄に、酸素吹込量、使用時間等を記入すること。

### ばい煙、粉じん、有害ガス又は悪臭の処理の方法

処理	処理施設の工場における施設番号											
処理	まする発生	生施設の工場に	における	る施設番号								
処り	理 施 設	で種類・	名 称	・型式								
使	用開	始(予定	)	年 月 日								
		出物の量	最	: 大								
	(m	n <sup>3</sup> N/h)	常	用用								
	総排占	出物の温度	処	理前								
	(℃)		処	理後								
		出物中の農度(%)	処	理後								
		ばいじんの	処	理前								
		濃度	処	理後								
		(g/m³N)	(	効率%)	(	)	(	)	(	)	(	)
		いおう酸化物	処	理前								
		の濃度	処	理後								
		(容量比ppm)	(	効率%)	(	)	(	)	(	)	(	)
	ば		最	処 理 前								
処	V)	いおう酸化物	大	処 理 後								
理	煙の	の量		(効率%)	(	)	(	)	(	)	(	)
能	濃	(m³N/h)	常	処 理 前								
力	の濃度等	(1111)	用用	処 理 後								
				(効率%)	(	)	(	)	(	)	(	)
			最	処理前								
		窒素酸化物の	大	処理後	,	\	,	`	,	,	,	,
		濃度		(効率%)	(	)	(	)	(	)	(	)
		(容量比ppm)	常	処理前処理後								
			用	(効率%)	(	)	(	)	(	)	(	)
	有害		処		(	)	(	,	(	,	(	,
	ガス	の濃度	処									
		( )		· 全 () 効率%)	(	)	(	)	(	)	(	)
	粉じん	,		<u>/// / / / / / / / / / / / / / / / / / </u>	`	,	(	,				
	•	の濃度		理後								
	悪臭	( )		効率%)	(	)	(	)	(	)	(	)
伸	٠, ١		ı			時~ 時		時~ 時		時~ 時		時~ 時
使用状況	1	日の使用時間	・ 1 月 <u></u>	世川日剱		日/月		日/月		日/月		日/月
涗	季	節	変	動								
煙	突	高る	(m)	)								
	•	頂口	径()									
排象	<b>贰塔</b>	排出速	度(	m/s)								

備考 1 ばい煙の濃度等は、乾きガス中の濃度等とすること。

<sup>2</sup> 有害ガス・粉じん・悪臭の [ ……の濃度」欄には、有害ガス、粉じんについてはその種類を、悪臭については悪臭の文字を記入し、( ) 欄には、 $cm^2/m^3N$ 、m g  $/m^3N$ 、臭気指数又は臭気排出強度の文字を記入すること。

#### 粉じん発生施設 (コークス炉) の構造並びに使用及び管理の方法

工	場における施設番号		
名	称・型式		
使	用開始(予定)年月日		
	原料の処理能力( t /日)		
規 模	炉 室 数		
	炭 化 時 間(h)		
装	粉じんの処理装置の種類・型式		
炭 作	集じん装置の効率(%)		
業	送風機の原動機出力(kW)		
窯	粉じんの処理装置の種類・型式		
出 し 作	集じん装置の効率(%)		
業	送風機の原動機出力(kW)		
消化作業	粉じんの処理装置の種類・型式		
	参 考 事 項		

備考 1 「参考事項」欄には、ガイド車の走行する炉床の強度、ガイド車の軌条の幅員等について記入すること。

2 粉じん発生施設及び粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその寸法を記入した概要図を添付すること。

粉じん発生施設(堆積場、コンベア、破砕機、磨砕機、ふるい、 バッチャープラント、製綿機)の構造並びに使用及び管理の方法

		/ / / / / / /	2C/1917/2/	17.0 == 0	- / - / - / - /
工	場に	おける施設番号			
名	称	・型式・基数			
使	用開	始(予定)年月日			
	面積	i (m²)·堆積能力(t)			
規模		ト幅 (cm) 又はバケット内 (m³)・運搬能力 (t/h)			
		h機の定格出力(kW) 理能力(t/h)			
	集じ	集じん装置の種類・型式			
	$\lambda$	集じん装置の効率(%)			
	装 置	送風機の原動機出力(kW)			
		装置の種類・型式			
使用	散	装置の能力(m³/h)			
及び管	水	散水の方法又は運搬量若しくは処理量当たりの散水量 (化/t)			
理	薬	薬液の種類・名称			
の 方	液	装置の種類・型式・基数			
法	の 散	装置の能力(m³/h)			
	布	散布の方法			
	防し	ごんカバーの設置状況			
	その	方法			
	他	( ) //			
参		考 事 項			

- 備考 1 「規模」の欄には、堆積場については面積及び堆積能力を、コンベアについてはベルト幅又はバケット内容積及び運搬能力を、破砕機、磨砕機、ふるい、バッチャープラント及び製綿機については原動機の定格出力及び処理能力を、記入すること。
  - 2 「散水の方法又は運搬量若しくは処理量当たりの散水量」欄には、堆積場については散水の方法 (水量、実施頻度等)を、コンベアについては運搬量当たりの散水量を、その他のものについては処 理量当たりの散水量を記入すること。
  - 3 「薬液の散布」欄は、堆積場についてのみ記入すること。
  - 4 「その他」欄には、堆積場については締固めの装置・型式及び方法並びに散水等と同等以上の効果を有する措置、その他のものにあっては散水等と同等以上の効果を有する措置について記入すること。
  - 5 粉じん発生施設及び粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

### 汚水の発生施設の構造等

エ	場に	おける	施設者	番 号																
種	類	<ul><li>名 称</li></ul>	• 型	过式																
使	用開	始(予定	定) 年	月日																
構				造																
主	要	寸 法	( n	n )																
使用		. 日の使 . 月のか				F	寺~ 日∠	時 /月		B		時 /月		B	-	時 /月		B	寺~ 日 ∕	
状 況	季	<b>節</b>	変	動																
H.	種	Ē		類																
原材料	倬	き用量(1	日あた	( و ا																
14	侵	ラ 用	方	法																
					通	常	最	大	通	常	最	大	通	常	最	大	通	常	最	大
	排	水量(r	m <sup>3</sup> /目)																	
	水	素イン		と 度																
	生	(p 物化学的		 求量																
			g / l)																	
	化	学的酸	素 要 z g / l)	<b>ド</b> 量																
	浮		<del>》</del> 勿 質	量																
汚水		(m g	g / l)																	
水の	外			観																
の水質	臭			気																
	温		度(	°C)																
	そ		(	)																
	の他		(	)																
	の項		(	)																
	目		(	)																
		は中間製 しての廃																		

- 備考 1 「汚水の発生施設」とは、冷凍用冷却装置、ばい煙の洗浄装置、水質汚濁防止法施行令別表第1に 掲げる施設等をいう。
  - 2 「汚水の水質」欄のうちの「その他の項目」の欄には、条例別表第7 4の部(1)の表の(1)から(26)までに掲げる各項目、同別表 4の部(2)アの表の(8)から(15)まで及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、汚水の発生施設から排出されるものをすべて記入すること。また、()には、単位を記入すること。

					汚	水	$\mathcal{O}$	処		珥	1	0	0	-	方	注	<u>:</u>						
処	理 !	施設の	工物設置	場に																			
処工	理す	る 施 ける発生 おける	上施	<u>, クー</u> 設の 乗品																			
		<u>-ねりる</u> ・名称																					
使	用開	射始(予定	官)年	月日																			
構				造																			
-	主 要	更 寸:	法(n	n)																			
自	Ę.	力(ı	n3/	目)																			
処	. I	里の	方	式																			
消	資	木	t	名																			
消耗資材	用			途																			
材		日の																					
傏		日の使 月の 例				時~ 日/					時~	~ 日 /	時					時	<b>}</b> ∼	ー /月	诗		
<b>使用</b> 捉	季		変	動		H /	7 月					Η/	月						Н/	/ 月			
		- 1/1	及	#/	処 5	 里 前	処	理後	処	£	H i	前	処	理	後	処	丑	<u> </u>	前	処	Ŧ	<u> </u>	後
				_	通常	最大	通常			常	最		通 常	_	最大	-		最			常	最	
	汚	水量	t (m <sup>3</sup>	/日)	~2 111	-12 / 1	~= 113	-12 / 1	~	113	-12	•	~= 11	,	-12 /1	~	113	-12		~=	1,13	-12	
		水素イオン																					
	生生	物化学的	酸素罗	要求量																			
処	1V	/mg 学的酸	<u>/()</u> 妻 亜	- 北 県										-									
理に		(mg	亲女 :/ℓ)																				
理に係る汚水量	浮	遊 mg	か 質 · ∕n	量																			
る汚	外		·/ ·/	観																			
水量	臭			気																			
•	温		度(	°C)																			
水質				( )																			
	そ			( )																			
	他			( )																			
	項			( )																			
	排		浐	水 县	水素	生物化	匕学的	化学	的	浮	遊					温度	. 7	- 0	) /	他	の	項	目
各排	排火工業号		(m	水 量 i <sup>3</sup> /日)	イオン 濃 度	酸素型	是求量	酸素要求( m g /	量匀	物		外	観	臭	. 気	価及 (C)	(	)		(	)	(	)
各排水口の汚水量・水質		通最通最通																					
汚水		通常																					
量・		最 大 通 常																					
~質		最 大																					
		通常大																					
	種		•		類						ı				1						1		
残さ	生	成	量	( k g	/目)																		
	処	理力	ī 法	の	概要																		

- 備考1 「処理施設」とは、工場に設置されている施設であって、発生施設等から排出される汚水を処理するためのものをいう。
  - 2 「処理に係る汚水量・水質」欄及び「各排水口の汚水量・水質」欄中の「その他の項目」の欄には、条例別表第7 4の部(1)の表の(1) から(26)までに掲げる各項目、同別表 4の部(2)アの表の(8)から(15)まで及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、汚水の処理施設又は工場から排出されるものをすべて記入すること。また、( ) には、単位を記入すること。
  - 3 「各排水口の汚水量・水質」欄には、工場の各排水口から排出される総汚水量及びその水質を記入すること。

### 騒音又は振動発生施設の構造等

工場	場における施設番号				
種	類・名称・型式				
公	称 能 力				
	数				
使用	月開始 (予定) 年月日				
使用状況	1日の使用時間・ 1月の使用日数	時~ 時 日/月	時~ 時 日/月	時~ 時 日/月	時~ 時 日/月
状況	季 節 変 動				
騒音ス	又は振動の防止の方法				
	種類				
	用途				
事業用	積 載 量				
用自動車	台数				
	1時間当たりの出入回数				
	1日当たりの出入回数				

- 備考 1 「騒音又は振動発生施設」とは、金属圧延機械、プレス機械等騒音又は振動を発生する施設をい う。
  - 2 「騒音又は振動の防止の方法」欄には、消音器、つり基礎、遮音塀等騒音又は振動の防止に関し て講ずる措置を記入すること。できる限り図面、表等を利用すること。

### 地下水揚水施設の構造等

	名 称 又 は 番 号					
<del>1</del> =	設置・変更予定年月日	年 月 日				
揚水施設	さ く 井 年 月 日	年 月 日				
設	深度(地表面下m)・側管口径 (mm)	深度 m、 側管口径 mm				
	ストレーナーの位置 (地 表 面 下 m)	$m\sim$ $m$ , $m\sim$ $m$ $m\sim$ $m$				
	種 類 · 名 称 · 型 式					
揚水機	原動機の出力・揚水能力	kW 化分				
1750	吐 出 口 断 面 積	c m <sup>2</sup>				
水量	種 類 · 名 称 · 型 式					
水量測定器	検 定 年 月 日					
地下	計 測 方 法					
地下水位	静 止 水 位 、 揚 水 水 位 (地表面下m)	m m				
地	下 水 揚 水 量	m³ (1日平均)				
地	下 水 の 用 途					
	施設数、吐出口断面	積の合計、地下水揚水量の合計				
変更	施設数、吐出口断面積の合計	本 cm <sup>2</sup>				
変更前	地下水揚水量の合計	m³ (1日平均)				
変更	施設数、吐出口断面積の合計	本 cm <sup>2</sup>				
変更後	地下水揚水量の合計	m³ (1日平均)				
揚 所	水 施 設 担 当 者 属、氏名、電話番号					

- 備考 1 必要に応じ図面を添付のこと。
  - 2 複数の揚水施設の設置(変更)の場合は、地下水揚水施設の構造等について、揚水施設別に作成の こと。ただし、「施設数、吐出口断面積の合計、地下水揚水量の合計」の欄については、1枚目に記 入し、2枚目以降には記入しないこと。
  - 3 完成後、揚水試験を実施したときは、その報告書の写しを提出すること。

### 工事完成届出書

年 月 日

小金井市長殿

住 所

氏名

(法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

工場の 設置 変更 の工事が完成したので、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例

第84条第1項の規定により届出します。

設置 変更 変更	3	第	号	年	月	日
工 場 の 名 称						
工場の所在地						
工事完成年月日						
※受付欄	•					

備考 ※印には、記入しないこと。

#### 工場現況届出書

年 月 日

小金井市長殿

住所

氏名

(法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第 86 条の規定により、工場の現況について、次のとおり届け出ます。

U Щ Ф 7 o								
設置認可番号・年月日	第   号	年	月	日				
工場の名称								
工 場 の 所 在 地								
建物の状況	△別紙( )のとおり	施設の状況	△別紙(	)のとおり				
資 本 金	円	主たる燃料		(いおう分 %)				
作 業 時 間	時から	時まで	(	時間)				
自動車の出入口が接する 道 路 の 幅 員	m	従業員数		人				
公害防止担当部課	担当部課 責任者氏名		電話番号					
地下水の取水の方法								
ばい煙、粉じん、有害 ガス、汚水、騒音、振 動又は悪臭の発生状況	(発生施設の名称: 発生状況:			)				
ばい煙、粉じん、有害 ガス、汚水、騒音、振 動又は悪臭の防止状況	(防止施設等の名称: 防止の状況:			)				
最近3年間に発生した	発 生 年 月 日	被	害 の 概	要				
事故の発生年月日及び		·						
被害の概要								
周囲 100 メートル以内の学校及び病院並びに 50 メートル以内の診療所(患者の収容施設を有するものに限る。)、保育所、特別養護老人ホーム及び図書館の所在位置図								
※受付欄(記入しないこと)			. —					
	• 3 • 4 • 5 • 6 • 7 • 8 • 9)	号の工場に該	当					
2 公害の種別(ばい煙・粉	じん・有害ガス・汚水・騒音・抜	憂動・悪臭)						

- 備考 1 ※印の欄には記入しないこと。
  - 2 「設置認可番号・年月日」、「工場の名称」及び「工場の所在地」欄を除き、直近の認可のときの状況 と異なる事項のみを記入すること。
  - 3 △印の欄には、届出書に添付する別紙に一連番号を付けた上、該当する別紙番号を記入すること。
  - 4 ばい煙等の発生状況又はばい煙等の防止の方法について、この様式各欄に記入しきれないときは、図面、表等を利用すること。

# 工 場 氏名等変更届出書

年 月 日

小金井市長殿

住所

氏 名

(EII)

(法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

工 場 について次のとおり変更したので、都民の健康と安全を確保する環境に関する 指定作業場

条例 第 87 条 の規定により届け出ます。 第 93 条第 1 項において準用する同条例第 87 条

認可番号・年月日 第 号 年 月 日

工場 (指定作業場) の名称

工場 (指定作業場) の所在地

変 更 前
変 更 後

変 更 年 月 日

変 更 の 理 由

備考 1 ※印の欄には、記入しないこと。

※受付欄

2 「認可番号・年月日」の欄は、指定作業場の届出の場合には、指定作業場の設置届出年月日のみを記入すること。

## 工 場 廃 止 届 出 書 指定作業場

年 月 日

小金井市長殿

住 所

氏名

(法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

工 場 を廃止したので、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 指定作業場

第87条

第93条第1項において準用する同条例第87条の規定により届け出ます。

認可番号・年月日	第    号    年  月  日	
工 場の名称 指定作業場		
工 場の所在地 指定作業場		
廃 止 年 月 日		
廃 止 の 理 由		
移 転 先 の 所 在 地		
※受付欄		

備考 1 ※印の欄には、記入しないこと。

- 2 「認可番号・年月日」の欄は、指定作業場の届出の場合には、指定作業場の設置届出年月日のみを 記入すること。
- 3 「移転先の所在地」欄は、工場(指定作業場)の廃止の理由が移転である場合に、その移転予定先 の所在地を記入すること。

## 工 場 承 継 届 出 書 指定作業場

年 月 日

小金井市長殿

住所

氏 名

(法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

場の認可を受けた者の地位を承継したので、関係書類を添えて、都民の健康と安全を 指定作業場

第88条第3項

確保する環境に関する条例 第93条第2項において準用する第88条第3項の規定 により、次のとお

り届け出ます。

認可番	号•	年 月	日			第		号	年		月	日	
工指定作業	場の場	名	称										
工指定作業	場の場	所 在	地										
承 継	年	月	目										
7th -24 VN 1	氏名	又は名	名称										
被承継人	住		所										
承 継	0	原	因	1	譲受け	2	借受け	3	相続	4	合併		
※受付欄													

備考 1 ※印の欄には、記入しないこと。

- 2 「認可番号・年月日」の欄は、指定作業場の届出の場合には、指定作業場の設置届出年月日のみ を記入すること。
- 3 「承継の原因」欄は、該当するものを 一で囲むこと。

### 指定作業場愛麗届出書

年 月 日

小金井市長殿

住 所

氏名 印

(法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 第89条 第90条 の規定により、関係書類を添えて、

次のとおり届け出ます。

	設置番号・年月日		第	号		年	月	日	
既 設 置 番 号 等	亦田市山	,指定	作業場	2 作	業の	建物・施	設の	ばい煙	等の
	変更事由	1 0	種 類	<sup>2</sup> 方	法 3	構造又は	· 配置 ·	防止の	方法
指定作業場の名称									
指定作業場の所在地									
						病院に			
指定作業場の種類						あって	は		床
						病床数			
地 域 等	用	途 地	域			,	水域		
地域等									
自動車の出入口が		50 メー	トル以内	の学校・	図書館・	病院・診療	. Bullet	( ) - )	2 20
接する道路の幅員	m					の所在位置	/\ \\ \  \  \  \\ \\	( )のと	おり
作業時間		時から			時まで	(	時間)		
工事着工予定	年	月 日	エ	事 完	成 予	定	年	月	日
従 業 員 数		人	廃	止	予	定	年	月	
(常用雇用者数)	(	人)	疶	11.	1,	Æ	+	. д	Н
	所 属								
連絡先	氏 名			電	話番号				
	ファクシミリ番号			電	子メールアド	レス			
※受付欄	J								

- 備考 1 ※の欄には、記入しないこと。
  - 2 △印の欄には、届出書に添付する各別紙に一連番号を付けた上、該当する別紙の番号を記入すること。
  - 3 変更届として使用するときは、「指定作業場の名称」及び「指定作業場の所在地」以外の欄には、 変更のある欄のみ記入する こと (添付する別紙についても同じ。)。
  - 4 「指定作業場の種類」の欄には、条例別表第2に掲げる指定作業場のうち該当するものを記入すること。
  - 5 「用途地域」の欄には都市計画法第8条第1項第1号に規定する用途地域を、「水域」の欄には条例別表第7 4の部の付表の 水域細区分の欄に掲げる水域を記入すること。
  - 6 「診療所」は、患者の収容施設を有するものに限る。

	建物	7・施設の酢	卫置	△別紙(	) の	とおり		
	敷	地 面 (m²)	積					
敷地		棟の名	称					
建物	作業	用	途					
建物の状況	作業場の棟別構造	階	数					
	所構造	構	造					
	面積	建 築 面 (m²)	積					
		作業場面 (m²)	積					
	種		類					
主た	公	称 能	力					
たる施設	動力 ( k W )							
主たる施設の能力等	台		数					
等	別	紙 番	号					
	構造	重・使用の力	法	△別紙(	) 0	とおり		
		で 取 り 扱 又は有害物						
作	業	の方	法					
公	害防	止の方	法					

備考 1 「建物・施設の配置」の欄及び「構造・使用の方法」の欄の別紙は、施行規則別記第 16 号様式の別紙のうち、該当する様式を使用すること。

2 「事業場で取り扱う有害ガス又は有害物質」の欄には、条例別表第3の各号に掲げる物質又は別表 第4の各号に掲げる物質のうち事業場で取り扱っているものを記入すること。

### レディミクストコンクリート製造場又はセメントサイロ

施	Ī	設	番	<u> </u>	号		
種	類	•	名 称	• 型 :	弌		
			5 ( m				
使	用	開始	(予定)	年月日	8		
原材料	種	類	別使	用 』	量		
料	貯	:	蔵	<u> </u>	量		
	建	物	1 の	概	要		
		集じ	ん装置の	種類・形	式		
	集じん装置	集じん装置の効率(%)			率		
粉じんの防止方法	表 置	送風機の原動機出力 (kW)			力		
防止		装置の種類・型式			式		
方法	散	装置の能力 (m³/日)			)		
	水	運 搬 量 当 た り の 散 水 量 ( ℓ / t )					
	防	じん	カバーの	設置状況	兄		
	そ	の他	方	法	•		
	車			利	重		
事業	用			ì	金		
事業用自	積		載	<u> </u>	量		
動車	台	,		梦	数		
	_	一日当たりの出入回数			数		

敷地内建物及び施設の配置並びに自動車の通行経路図

備考 指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。

					車ミナ	
ガソリン 自	ノスタン 動	ド、液化石油 車 車		タン 洗	⁄ド、天然ガス 車	スタンド 場
収容台数・停留台数	総数	7-	-	大中	型車型車	<i>70</i> 0
一日の出入台数						
貨物の種類						
洗浄機の型式				原真	動機の定格出力	
貯蔵タンクの基数				貯戸	蔵総量 (単位)	(kℓ·t·m³)
各貯蔵タンク毎の	タンク	クの内容積等			炭化水素系物質の排品	
貯蔵物質名		(単位)	設備の有	無		前の種類
		(kℓ·t·m³)	有・無		<ul><li>1 ベーパーリター</li><li>2 その他(</li></ul>	ン )
		(kℓ·t·m³)	有・無		<ul><li>1 ベーパーリター</li><li>2 その他(</li></ul>	)
		(kℓ·t·m³)	有・無		<ol> <li>ベーパーリター</li> <li>その他(</li> </ol>	)
		$(k\ell \cdot t \cdot m^3)$	有・無		<ol> <li>ベーパーリター</li> <li>その他(</li> </ol>	ン )
		(kℓ·t·m³)	有・無		<ul><li>1 ベーパーリター</li><li>2 その他(</li></ul>	)
		(kℓ·t·m³)	有・無		<ol> <li>1 ベーパーリター</li> <li>2 その他(</li> </ol>	>
敷地内建物及び施設の	配置並びに	自動車の通行経路	図			

- 備考 1 指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。
  - 2 この様式各欄に記入しきれないときは、図面、表等を利用すること。
  - 3 貯蔵物質が液化石油ガスの場合、「タンク内容積等」欄には重量で記入すること。

# 廃棄物の積替え場所又は保管場所ウェスト・スクラップ処理場材

廃	棄	物	種類						
ゥ	7エスト・スク	ラップ	積 み 替 え 量 ( t )						
权	t	料	収容量又は保管量( t )						
残	हें	土	最大保管量 (t)・最大保管高さ (m)						
_	- 日当たりのタ (t)	. 理量							
面	ī	積							
	保管方法建築物の								
粉じ		粉じん							
しん等の	防止の方法	騒 音							
ん等の防止方法		振動							
法		悪臭							
		汚 水							
業務	車	種							
業務用自動車	積 載 量	( t )							
・作業用機械	台	数							
機械	一 日 当 <i>†</i> 出 入	こりの 回 数							
敷地	  内建物及び施記	役の配置図							
備考	指定作業場の	<u> </u>	こ、該当する欄のみ記入すること。						

	死 亡	獣 音	取扱	場、	, ک	: 畜	場又	は音	新 舎 ————	
規		模	と 畜 場 畜 舎 ( 死亡獣畜取	(と発 飼養 な扱場(タ	頭羽	数 )				
季	節	変動								
取	水源別利	用水量	上水道 工業用水 地下水 その他( 計			m <sup>3</sup> /日 m <sup>3</sup> /日 m <sup>3</sup> /日 m <sup>3</sup> /日	汚水・汚の処分方		\ ! <del></del>	元 透を含む。) 乗 乗 却
	水 量 (m³/日)	処理前 処理後								
	水素イオン農	処理前								
汚水の	(pH)	処理後								
の水質	生物化学的 酸素要求量	処理前								
	版示安水重 (mg/l)	処理後								
	浮遊物質量	処理前								
	(mg ∕ ℓ)	処理後								
汚水	種	類								
汚水処理施設	能	力								m <sup>3</sup> /日
設	処理	方 法	△別紙(	) のと	:おり					
処	発 生	量					1	: /月	(水分	%)
処理汚泥	処分	方 法								
	参 考 事	項	飼料の種類			平均	均給餌量		]	kg/日
備考			とに、該当す 方法」欄は、				- <sub>}</sub>			

### 青写真又は工業用材料薬品小分けの作業場

反 応 槽 又 は 貯 蔵 槽 の 容 量 (m³)		
材料品使用量 又は薬品取扱量 (kg・kℓ/日)		
材料品又は薬品 貯 蔵 量 (kg・k <i>l</i> )		
敷地内建物又は作業場内施	設の配置図	

備考 指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。

	食	物	0	<sup>くん</sup> 燻	蒸	場	
< A 燻	蒸 室 の 容 量(	m <sup>3</sup> )					
4114	種	類					
被燻蒸食物	収 容 棚	数					
490	季 節 変	動					
	使用ガスの利	重類					
有	使 用 ガ ス の (m³N)	量					
有害ガスの使用状況・排出状況	(mg/m³N)	農度					
使用状况	最 大 排 出 (m <sup>3</sup> N/h)	量					
排出状	最大排出時 (h)	間					
況	通常時の排と (m³N/h)	出 量					
	処理の方	法					
室内には	おけるガスの流れ系路図						

## めん類製造場、豆腐又は煮豆製造場、砂利採取場及び洗濯施設を有する事業場

	施設の種類・名称・ 構造・主要寸法			
	1 日の使用時 1 月の使用		時 ~ 時 日/月	時 ~ 時 日/月
	季 節 変	動		
	原材料の種類・1 使 用 量 ・ 使 用			
	排水量 (m³/	日 )		
	水素イオン濃度	処理前		
	(pH)	処理後		
	生物化学的	処理前		
汚水	酸素要求量 (mg/l)	処理後		
汚水の水質	浮遊物質量	処理前		
質	(mg ∕ ℓ)	処理後		
	その	処理前		
	その他の項目())	処理後		
涎	<b>種</b>	類		
汚水処理施	能	力	m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /日
施設	処 理 方	法	△別紙( )のとおり	
処理汚泥	発 生	量		
汚泥	処 分 方	法		
参	 考			

備考 「汚水の水質」欄のうちの「その他の項目」の欄には、条例別表第7 4の部(1)の表の(1)から(26)までに掲げる各項目、同別表 4の部(2)イ(エ)の表の(8)から(15)まで及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、当該指定作業場から排出されるもの全てを記入すること。また、( )には、単位を記入すること。

,	廃泪	加理	施設を有事業場、	する事	業	場、汚	尼処	理施	設を	有	する	事	業場	見が、	ا ا	尿	処理	里方	包設	Ļ
	を作	すする・	事業場、 バエル畑:	上場・位理と	乍	<b>莱</b> 場等	から	排出	31	しる	′ 方水	(0)	处地	甚邡	也彭	どを	有了	丁名	Ś	
	<del>丁</del> 录	<b>ミ物仪</b> ■ 施 設 (	び下水処	<u> </u>																
	おり	ナる施	の工場に 設番号																	
			弥・型式																	
		開始(予	定)年月日																	
	構		造																	
		要 寸 法																		
-			3 / 日)																	
	処	理の																		
使用	薬		材を																	
使用薬材	用																			
			月量(kg·kℓ 5 用 時 間 ・			時	$\sim$			時					時	$\sim$				時
<b>唐</b> 投			使用日数						日/	-					r- ()				日/	/月
涗	季	節	変重	h																
			_	処	廷	1 前	5	処 理	後		2	処 耳	里前	ij			処	理	後	
	1			通 常	•	最 大	通	常	最	大	通	常	最	, J	大	通	常		最	大
	-		m <sup>3</sup> / 日 )																	
			✓ 濃 度 ( p H																	
処			要建 (mg/l)																	
理			求量 (m g /ℓ)																	
係る		遊物 質	質量(mg/ℓ)																	
に係る汚水量	外		<b></b>																	
水量	臭	盛	( °C )	J.																
•	温	度	( °C )	)																
水質	その		(	)																
	他の		(	)																
	項目		(	)																
	<u> </u> 各排	 E 水 口 (	 の汚水の:	<u>/  </u> 量 及 でドラ	k )	<u> </u> 質														
Г		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		水素イオン	1	上物化学的	化学的	的酸麦	浮	遊			そ	の	他	の	項	目		
	番号 水口		汚 水 量 ( m <sup>3</sup> / 日 )	濃 度 (pH)	西	<b>俊素要求量</b>	要	求 量	物	質 量		,	, ,		,		,			`
	. П		( 111	( p H )	(	mg/ l)	(m	g / ( )	( m	g / ( )	(	)	( )	)	(	)	(	)	(	)
		通常																	<u> </u>	
-		最大																		
		通常																	-	
-		最大																	_	
		通常																	1	
汗	WE I	種		 類																
汚: 及:		生成	量 ( kg /																	
廃			方法の																	
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		~ <del>'</del>	/J 14 V)	17 ×																

備考 「処理に係る汚水の量及び水質」欄及び「各排水口の汚水の量及び水質」欄中「その他の項目」の欄には、 条例別表第7 4の部(1)の表の(1)から(26)までの項目、同別表 4の部(2)イ(7)、(イ)又は(エ)の表の(8)から(15)まで及 び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、当該指定作業場から排出されるものすべてを記入すること。また、 ( )には、単位を記入すること。

# 暖房用熱風炉、ボイラー、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関、ガソリン機関又は焼却炉を有する事業場

			1// 1/	<u> </u>		.,,.,.						
施設番号												
種類・名称・型式												
	設 置 年 月 日											
	着 手	予 定	年	月日								
	使用開	開始 (予	定) 年	F月日								
	構			造								
1.1	伝熱	面積又に	は火床	面積(m²)								
規模	燃料0	り燃焼能え	力 (Uh	m <sup>3</sup> N/h)								
	焼却	能力	( k g	g / h )								
使	1	日の 使	用日	寺間・	時~	時	時~	時	時~	時	時~	時
用出	1 /	月の	使 用	日 数		日/月		日/月		日/月		日/月
使用状況	季	節	変	動								
17.6	種			類								
燃料	灰分	・いま	うう分	(%)								
17	1	日の	使	用量								
廃	棄物の	り種類	• 量	(t/目)								
ば	い煙	夏の 処	理 0	方法								
総	排出	物の量	k ( m a	3 N / h )								
•	温度	$(\mathcal{C})$										
j	総排出	物中の	酸素濃,	度(%)								
	ばいじんの 処理前			L理前								
	濃	度	処	L理後								
	(g/	m <sup>3</sup> N)	(刻	<b>小率:%</b> )								
		う酸化	ע	L理前								
ばい		)濃度	处	L理後								
い煙の濃	(容量	t ppm)	(対	)率:%)								
の迪				処理前								
度	空事	酸化物	最大	処理後								
		濃度		(効率%)								
		t ppm)		処理前								
	VI ±	z ppiii/	通常	処理後								
				(効率%)								
煙乳	nte.	高	さ	(m)								
	天• 気塔	頂口	径	(m)								
コナトン	スパンロ	排出	速度	(m/s)								
	<u></u>	参考	争步	1								

敷地内建物又は室内施設の配置図

備考 1 指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。

<sup>2 「</sup>灰分・いおう分(%)」の欄の記入に当たっては、重量比又は容量比の別を明らかにすること。

<sup>3 「</sup>ばい煙濃度」は、乾きガス中の濃度とする。

	水 施	設	を有っ	する	事	業 場		
浄水施設の事業場における施設番号								
種 類 · 名 称 · 型 式								
使用開始 (予定) 年月日								
浄水の方式								
構造								
主要寸法 (m)								
能力 (m³/日)								
	原水の種	類			原水の			
原水								
	取 水	量	n	n <sup>3</sup> /目	取 水	量	n	m <sup>3</sup> /日
消毒剤の種類								
消毒設備 1日の使用量								
(kg ⋅ kℓ)								
薬材名								
その他の 用 途								
使用薬材 1日の使用量								
$(kg \cdot k\ell)$								
季 節 変 動								
発生汚水の処理施設	△別紙(	´ ) O.	とおり		△別紙	( ) O	とおり	
71 ± 13 / 11 × / C · ± //L   p.	処理			里後		理前	_	理後
	通常	最 大		最大	通 常			最大
	XII 111		7,22 111		<del>2</del>	, , ,	7.22 113	
水素イオン濃度(p H)								
活水 生物化学的酸素要求量 (mg/l)								
水								
水   で ( ) ( )								
項目 ()								
	<u> </u>	<u> </u>						
		物化学的	化学的酸素	浮遊物質量		その他	』の項	
番が     濃	度酸	素要求量	要求量					
(m³/目)(p	о Н ) ( п	ng/ ℓ)	( m g / l )	( m g / l)	( )	( ) (	) ( )	) ( )
通常								
最大								
通常								
最大								
汚泥  種	類							
及び 生成量(トン/日	)							
廃液 処理方法の概	要		<u></u>					

備考 「汚水の量及び水質」欄及び「各排水口の汚水の量及び水質」欄中「その他の項目」の欄には、条例別表第7 4の部(1)の表の(1)から(26)までの項目、同別表 4の部(2)イ(エ)の表の(8)から(15)まで及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、当該指定作業場から排出されるものすべてを記入すること。また、( ) には、単位を記入すること。

#### 病院及び科学技術に関する研究、試験、検査を行う事業場

汚水の発生施設の事業場における施設番号																	
種 類 · 名 称 · 型 式																	
使	用阝	月始(三	予定)年	月日													
構造																	
主	要寸	法		(m)													
能			力 (m³/	/日)													
使	薬		材	名													
使用薬材	用			途													
材	1		用量(kg														
使田	1		使用時			時~	~		時				時	$\sim$			時
使用状況	1	月 の		日数				F	3/月							月	/月
	季	+ -,		動		,						,					
			り処理が	施設	△別紙	( ) D	とおり			$\triangle^{5}$	別紙	(	) (	ひとは	おり		
汚水(	の量。 <u>//</u>	及び水質	Ţ			T 1/2			///	I			N/-	1			
					処理		処型		後		処理		前.	_			後
	\art	, H			通常	最 大	通常	揖	<b>是</b> 大	通	常	最	: 大	通	常	最	大
ŀ		水量	( m <sup>3</sup> /														
ŀ		素イオ		(pH)													
			酸素要求														
			素要求量														
	子 そ	遊物質	(重 (1	ng / ℓ)													
	0)		(	)													
	他の		(	)													
	項			)													
夂	目 排 ·	± □ Ø	() 注水の	量及び	水 啠												
1	排	<u>у н у</u>	汚水量	単 人 い 水素イオン	生物化学的	化学的酸素	浮遊物質	昌		 その他の項目							
	水口		77 小 里	濃 度	酸素要求量	要求量	子 近 初 貝	里				T	/IE ∨ ⊅ ·	Ţ I			
	番号		(m³∕∃)	( p H )	(mg/ℓ)	$(mg/\ell)$	( m g / l	)	( )		(	)	(	) (	)	(	)
	h	通 常	, , , ,	( P )	(mg/c/	(mg/ t/	, g , -							<u> </u>		,	
		最大															
ŀ		通常															
		最大															
汚浴	蜀	種		類			<u> </u>									1	
及び 生成量 (トン/日)				'目)													
廃剂	廀	処理	里方法の	概要													
-	その	他	有害ガス	スの種類													
			処理	施設	△別紙	( ) O	とおり										
備孝 1 「汚水の彩出施塾」とは			たみる屋	1 七二八	沙協設	沚:	海梅型	ナンレ	シルが	汗波	引生工	计块	行人	即主	<b>姓</b> 1		

- 備考 1 「汚水の発生施設」とは、ちゅう房施設、入浴施設、洗浄施設など水質汚濁防止法施行令別表第 1 68 の 2 及び 71 の 2 に掲げる施設等をいう。
  - 2 「汚水の量及び水質」欄及び「各排水口の汚水の量及び水質」欄中「その他の項目」の欄には、条例 別表第7 4の部(1)の表の(1)から(26)までの項目、同別表 4の部(2)イ(エ)の表の(8)から(15)まで 及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、当該指定作業場から排出されるものすべてを 記入すること。

#### 地下水揚水施設の構造等 名 称 又 は 番 設置・変更予定年月日 年 月 日 さく 井 年 月 日 年 月 日 揚水施 深度(地表面下m) · 側管口(mm) 深度 側管口径 m, $m \, m$ ストレーナーの位置 $\mathrm{m}\sim$ m, $\mathrm{m}\sim$ m (地 表 面 下 m) $m\sim$ $\mathrm{m}$ $\sim$ m m, 種 類 ・ 名 称 ・ 型 式 揚 原動機の出力・揚水能力 水 kWℓ/分 吐 出 口 断 面 積 c m<sup>2</sup> 水量測定器 種類 · 名称 · 型式 年 定 検 月 日 計 測 方 法 (計 器 名 称) 地下 水位 静止水位、揚水水位 m m (地表面下m) 地 下 水 揚 水 量 $\mathrm{m}^3$ (1日平均) 下水の用 批 途 施設数、吐出口断面積の合計、地下水揚水量の合計 変更 施設数、吐出口断面積の合計 本 $cm^2$ 前 $\mathrm{m}^3$ 地下水揚水量の合計 (1日平均) 変更 施設数、吐出口断面積の合計 $cm^2$ 本 後 地下水揚水量の合計 $\mathrm{m}^3$ (1日平均) 揚水施設担当者 所属、氏名、電話番号

- 備考 1 必要に応じ図面を添付のこと。
  - 2 複数の揚水施設の設置(変更)の場合は、地下水揚水施設の構造等について、揚水施設別に作成の こと。ただし、「施設数、吐出口の断面積の合計。地下水揚水量の合計」の欄については1枚目に記 入し、2枚目以降には記入しないこと。
  - 3 完成後、揚水試験を実施したときは、その報告書の写しを提出すること。